

登録コード	HM218203	開講年度	2026					
授業題目	母子保健学特別研究					担当教員	金井 誠	
英文授業名	Research Thesis (Doctor's) in Child and Women's Health Science					副担当		
単位数	6	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	母子保健学ユニット / 1～3 年次	
講義室				授業形態	演習	備考	必須科目	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)		
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加							
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					医学または保健学における国内外の研究の動向を理解するとともに、独創的な観点から研究課題を設定し、科学的論文を作成し、グローバルな情報発信を行うことができる		
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					専門分野において作成する科学的論文に関連した更に新たな課題を探求し、その課題に対する新たな知見や技術を生み出すことができる		
(2)詳細/Detailed information	国内外の研究の動向を理解するとともに、情報収集能力・分析能力を身につける。 独創的な観点から研究課題が設定できる。 その課題に従って研究を推し進めるための各種条件を整えながら、高度な倫理的配慮を有する研究計画書を作成する。 研究計画書に従ってデータを収集し分析、科学的論文を作成し、グローバルな情報発信能力を身につける。 この一連の過程を自律してできる。 以上を一般学習目標とし、以下を行動目標とする。 以下の過程について主体的に、かつ自立して取り組むことができる。 1. 国内外の研究の動向を理解するとともに、的確に情報収集し、その内容を分析する。 2. 独創的な観点から研究課題が設定できる。 3. その課題に従って研究を推し進めるための各種条件を整えながら、高度な倫理的配慮を有する研究計画書を作成する。 4. 研究計画書に従って必要なデータを収集できる。 5. 適切な分析方法を選択できる。 6. 科学的論文を作成し、グローバルな情報発信を行う。							
(3)授業の概要/Overview of course	母体産科合併症，胎児発育不全に関する諸問題を含めた母子保健学領域の中で研究課題を設定し，倫理的配慮に基づいた研究計画書を立案する。 また，研究課題を達成するために最も適した信頼性，妥当性，信憑性のある研究手法によるデータ収集と解析を行い，一連の研究成果を論文にまとめる。 これらのプロセスを自律してできるように指導する。 本授業は，男女共同参画に関する内容を含んでいる。 本授業は，担当教員の医療機関における産婦人科医としての実務経験を活かして講義を行う。							
(4)授業計画/Course plan	日時は受講学生と検討のうえ決定する。 1．国内外の研究の動向を理解するとともに，独創的な観点から研究課題を設定し，研究計画書を立案してプレゼンテーションする。 2．研究に関する倫理について必要な内容を含めて明確に把握するとともに，信州大学医学部医倫理委員会での研究倫理審査を受ける。 3．研究計画書に従ってデータを収集する。 4．収集したデータを分析してプレゼンテーションする。 5．収集したデータから導かれた結果に基づいて博士論文を完成させ、学位論文発表会でプレゼンテーションする。							
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	博士論文の完成度とプレゼンテーション内容で評価します。 下記の評価項目の合計点にもとづき，判定基準は，90-100点(秀)，80-89点(優)，70-79点(良)，60-69点(可)，60点未満(不可)をとします。 研究領域で権威ある邦文・欧文雑誌に印刷公表または受理(掲載許可)を得ている(30点) 研究の目的・方法・結果および考察について十分に理解し，明確に説明できている(30点) 研究内容について提起される質問に対して，論理的に説明できている(20点) 研究の将来展望について論述できている(10点) 当該研究分野に関する最先端の知識を有している(10点)							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	毎回リーディング課題を課す。 授業開始直後にその理解を問う口頭試問を行うので，それに備えて課題をしっかりと読み込んでから授業に臨むこと。 web会議システムによる遠隔授業や研究指導を行う場合は，事前にアクセスID／パスワードを通知する。							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問、相談は講義中もしくは終了後にいつでも受け付けます。 定時のオフィスアワーは設けていませんが、メールで連絡していただければ随時設けます。 連絡先；makotok@shinshu-u.ac.jp 研究室は中校舎3階にあります。							

(8)授業の形式 /Course format	一部講義，一部プレゼンテーションとディスカッションを行いながら進める。
----------------------------	-------------------------------------